

平成 28 年度事業報告（H28.4.1～H29.3.31）

I、社会福祉法人やわらぎに関する事項

- ① 平成 28 年度の固定資産税（85,000 円）は平成 28 年 4 月 6 日一括納する。
- ② 運営、経営、組織に関し

※ 特に運営について

- 1) 平成 29 年 3 月 31 日、社会福祉法人制度を大幅に改革する法律が成立する事に伴い、定款変更、評議員選任・解任委員会の設置、評議員の任期等、従来とは大きく変更。その為に平成 29 年 8 月 26 日、高知市指導監査課主催の社会福祉法人制度改革に関する説明会に出席。これを機に平成 28 年度後半は、新体制施行日（平成 29 年 4 月 1 日）に向け定款変更、評議員選任・解任委員会の細則、委員の選任、やわらぎ報酬等支給基準の作成等、社福）としての透明化、組織体制の強化に努め無事、新年度をスタートする事が出来ました。これも偏に土居雅之理事（司法書士）のご尽力の賜物と感謝している。
 - ・ 安定した運営は人材の確保、介護職員の定着を図る事。この思いで日々努めましたが、結果を出す事ができず今年度は、常勤退職者 4 名（介護職員 3 名）非常勤退職者 4 名（介護福祉士 1 名）他、1 か月～数か月で退職した介護職員など移動は多く、継続性のあるきめ細かな介護は提供出来なかった。そのような状況の中で、職員の移動に伴い年齢の若返り、介護福祉士等、資格取得者が多くなり介護職員の資質の高まりと共に介護の資質向上及び充実に繋がっている事を実感している。
- 2) 平成 28 年 12 月度から、これまでの課題であった部屋代料金の値上げがご家族の承諾を得て可能となり一定額の増収を見込む事が出来た。

※ その他の事業報告として

- ・ 平成 28 年 6 月 27 日、平成 28 年度社会福祉法人やわらぎ現況報告及び平成 27 年度事業報告、決算報告書を高知市健康福祉部指導監査課に提出。
- ・ 平成 28 年 7 月 27 日、平成 27 年度社会福祉法人やわらぎ（グループホーム 蒨）に於ける介護職員処遇改善実績報告書を高知市介護保険課事業係に提出
- ・ 平成 28 年 8 月 26 日、高知市指導監査課主催、社会福祉法人制度改革に関する

る説明会に4名（中村淑子、土居雅之理事、吉永安好評議員、杉本賢司職員）出席。

- 平成28年10月13日、午前9時30分から午後5時過ぎ迄社会福祉法第56条第1項に基づく平成28年度社会福祉法人指導監査がグループホーム萌にて実施。口頭による指摘事項の中で可能箇所は直ちに訂正。
- 平成29年2月1日、上記の指導監査結果について文書指導として各拠点区分の資金管理を正確に行い、各拠点区分貸借対照表の現金預金の金額を正しく計上する事と示された。早速、現金出納帳及び銀行勘定帳を本部拠点、萌拠点に区分した関係書類一式を送付し受理された。
- 平成29年3月7日、平成28年度のやわらぎ事務所賃借料（年間36,000円）を市川素子氏（永井病院理事長）に支払った。
- 平成29年度の介護職員処遇改善加算に関し、厚生労働省は介護人材の職場定着の必要性を重視し、介護サービス事業者に対し昇給を含む賃金制度の整備、運用状況を明確にしたキャリアアップの仕組みの構築を促す、として従来の加算率をアップした処遇改善加算「I」を新設した。

これに関しホーム萌の職員と検討した結果、職員の定着を図る為に人件費の増額を考慮し支出面で無駄を省き昇給を図りたい、との意見一致。

平成29年4月14日、高知市介護保険課事業係に介護職員処遇改善加算新設「I」の申請書類を提出、同月17日、受理された。以上の事から平成29年度は法人、事業所共に新制度に従って運営、実施する事となった。

2. グループホーム**萌**に関する事業報告

※危機管理体制の充実

- 1) 萌の防災隊長の変更 男性職員が資格を取り門田~杉本に代わる。
- 2) 新規消防計画書作成によりマニュアルも少しずつ充実した内容に変わって来ている。
- 3) 防災設備の使い方は職員会時に毎月行い、段々と慣れてきている。
- 4) 男性職員が増えたことにより、重度化し車椅子対応者が増えても日々の散歩なども継続して行えており一斉外出も出来ている。
- 5) 隣に保育園がある事と、平和団地入り口の駐在所にも一度お願いした事でパトカーの見回り回数も増えてきている。

※介護の資質向上及び充実

- 1) 運営推進会議・地域交流等の協力体制も充実に向かい、ご意見や提案・支援を得られるように成って来ていますが、家族会はそれぞれの家族様の都合が悪く参加率が悪く成って来ています。欠席者の御家族には萌通信にて報告を行い繋がりを持てるように取り組んでいる。(それ以外にも来訪時や電話連絡で密に連絡を取っている)
- 2) 高齢化に伴い車椅子使用者が増えてきているが介護力アップにて少しでも残存機能維持が出来るよう介護に工夫が出来ている。その為個人プランや、シフトの見直しを行っています。
- 3) 職員のチームワークが今までに一番いい感じになってきており、入居者様との関わりが増えてきている。
- 4) 職員・入居者様共に健康管理にも気をつけ、日々の見守りや配薬にも気配りが出来だしている。その為にも職員の研修機会を増やすように努めているが、職員の数ギリギリで職安等にも申し込みを継続している。
- 5) 従来通り訪問診療・検診・予防接種等も継続とするがご家族の希望により他科受診もある。
- 6) 入居申し込みも順調に増えており、入居に関して、社会福祉法人として透明性・公共性を尊重し、職員全員の意見を聞きながら入居者様を決定させて頂いている。
- 7) 29年度予算として計上していた浴室の工事、シャワーキャリー、車椅子の購入もでき、環境を整えることが出来た。次の予算では、更なる充実をめざし事務室のバリアフリー化をめざし入居者様の移動が楽になるようをお願いして行きたいです。

以上